

第1回

札幌らしいコミュニティ・スクールの 在り方検討会議

議 事 録

日時：令和4年12月28日（水）9時30分～11時00分
場所：STV北2条ビル6階 A・B会議室

1 開会

○事務局（教育課程担当課長） それでは、定刻となりましたので、これより「第1回 札幌らしいコミュニティ・スクールの在り方検討会議」を開催いたします。

私は、検討会議の事務局を務めます、札幌市教育委員会教育課程担当課長の伊達と申します。

まず、出席者の確認ですが、坪井委員につきましては、公務の関係で本日はご欠席となっております。

続きまして、配付資料について確認させていただきます。

ここから着席して進めさせていただきます。

2 学校教育部長挨拶

○事務局（教育課程担当課長） それでは、まず、検討会議の開会に当たりまして、札幌市教育委員会学校教育部長の長谷川からご挨拶申し上げます。

長谷川部長、よろしくお願いいたします。

○長谷川学校教育部長 皆様おはようございます。札幌市教育委員会 学校教育部長の長谷川でございます。第1回 札幌らしいコミュニティ・スクールの在り方検討委員会の開会に当たりまして一言ご挨拶申し上げます。

まずは、皆様方におかれましては、本検討委員会の委員をお引き受けいただき、まことにありがとうございます。

また、本日は、12月28日と、年の瀬の押し詰まりました、たいへんお忙しい中にも関わらずお集まりいただきましたことに、重ねて感謝申し上げます。

さて、コミュニティ・スクールについてでございますが、子どもを取り巻く様々な課題に対応するためには、学校だけでなく、家庭・地域が相互に連携協力することが重要であるとの考えから、平成16年に法制度化され、平成29年度から設置が努力義務化されたものでございます。

現代は、将来の変化を予測することが困難な時代となっており、こうした時代を生き抜くためには、多様な見方・考え方を大切にして、変化を前向きに捉え、多様な人々と一緒に課題を解決できるようにすることがたいへん重要であると考えております。

そして、そうした資質を育てていくためには、多様な人々と関わりながら学ぶことが極めて重要であり、コミュニティ・スクールは、そのための教育環境を整える仕組みに

なりうるものと認識しております。

本市におきましては、コミュニティ・スクールの基盤とすべく「小中一貫した教育」を、令和4年4月から全市立小中学校で推進しており、この取組を踏まえまして、本日は、札幌らしいコミュニティ・スクールの導入に向けた検討を本格的に始めたいと考えたところでございます。

本検討委員会の委員には、学校関係者やPTA関係の方、大学等の有識者や地域で様々な活動をされている皆様に加え、現役の高校生にもご参加いただきました。

様々なお立場から忌憚のないご意見をいただきながら、札幌らしいコミュニティ・スクールの在り方を検討してまいりたいと考えておりますので、この後の活発な議論をお願いいたしまして、簡単ではございますが、私からのご挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお願いいたします。

3 委員自己紹介

○事務局（教育課程担当課長） それでは、本日が初回の会議でございますので、委員の皆様にご自己紹介をお願いしたいと存じます。お手元の名簿順にご自己紹介をお願いいたします。

○尾崎委員 札幌藻岩高等学校長 尾崎です。よろしくお願いいたします。

○小田委員 真駒内桜山小学校長 小田です。よろしくお願いいたします。

○川又委員 札幌市PTA協議会理事 川又です。よろしくお願いいたします。

○駒ヶ嶺委員 手稲中央小学校サタデースクール運営協議会会長 駒ヶ嶺です。よろしくお願いいたします。

○白川委員 手稲区青少年育成委員会連絡協議会議長 白川です。よろしくお願いいたします。

○土田委員 青葉町自治連合会会長 土田です。よろしくお願いいたします。

○出口委員 北海道科学大学 出口です。よろしくお願いいたします。

○東間委員 北海道教育大学札幌校 東間です。よろしくお願いいたします。

○中野委員 札幌市PTA協議会会長 中野です。よろしくお願いいたします。

○新津委員 西陵中学校長 新津です。よろしくお願いいたします。

○矢吹委員 公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会こども育成担当部長 矢吹です。よろしくお願いいたします。

○山澤委員 公益財団法人札幌市子ども会育成連合会副会長 山澤です。よろしくお願いいたします。

○藤田委員 札幌市ジュニアリーダー上級研修生 藤田です。よろしくお願いいたします。

○間所委員 札幌市ジュニアリーダー上級研修生 藤田間所です。よろしくお願いいたします。

4 事務局自己紹介

○事務局（教育課程担当課長） 委員の皆様、ありがとうございました。

続きまして、教育委員会の事務局職員についても自己紹介いたします。

教育課程担当課長 伊達です。

○柴垣学びのプロジェクト担当係長 学びのプロジェクト担当係長 柴垣です。

○岩田教育課程担当係長 教育課程担当係長、指導主事の岩田です。

○アルティ教育課程担当係長 教育課程担当係長、指導主事のアルティです。

○福井指導主事 教育課程担当課、指導主事の福井です。

○村上生涯学習推進課長 生涯学習推進課長 村上です。

○釜石社会教育担当係長 社会教育担当係長 釜石です。

○中原職員 社会教育担当係 中原です。

5 講演

○事務局（教育課程担当課長） 続きまして、検討会議に先立ちまして、北海道科学大学の出口教授にご講演をお願いしたいと思います。出口教授よろしくお願いいたします。

<出口教授講演「地域とともにある学校づくり」>

○事務局（教育課程担当課長） ありがとうございました。何か出口教授にご質問のある方はいらっしゃいますか。

(発言する者なし)

6 議事

○事務局（教育課程担当課長） それでは、会議次第5の議事(1)「委員長及び副委員長の選出」に移ります。資料2の検討委員会設置要綱をご覧ください。

第4条に基づき、委員長及び副委員長につきましては、委員の皆様の互選により選任いただくこととなっております。まずは、委員長について、どなたか、ご推薦はございますでしょうか。

○小田委員 真駒内桜山小学校長の小田でございます。僭越ながら、私から、北海道教育大学の東間義孝教授を委員長に推薦したいと存じます。

東間教授は、本市小学校での校長経験もあり、また、海外赴任時に地域や保護者の方々とともに学校運営を行った経験をお持ちと伺っております。そのため、札幌市らしいコミュニティ・スクールの在り方を検討するこの会議で、委員長を務めていただくことが適任であると考えたところでございます。

○事務局（教育課程担当課長） ありがとうございます。ただいま小田委員から、委員長に東間委員をご推薦いただきましたが、東間委員に委員長をお引き受けいただくことでよろしいでしょうか。

（拍手）

○事務局（教育課程担当課長） それでは、東間委員にはご負担をおかけいたしますが、委員長をお引き受けいただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

恐れ入りますが、東間委員長は、正面の委員長席にご移動をお願いいたします。

ここで、東間委員長から一言ご挨拶をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

○東間委員長 ただいま委員長を仰せつかりました東間でございます。一言ご挨拶させていただきます。

先ほど、出口委員から衝撃的なデータが示されました。コミュニティ・スクールについて道内でまだ取り組んでいないのは、じっくり検討を進めていた札幌市を含め3つの市とのことです。しかし札幌でも、実はこれまでも熱心にそれぞれの立場から、子ども達の育成に関わってこられたと思うのです。私も校長時代、地域の方や関係機関の方に大変お世話になりながら子どもの育みをさせていただきました。きっと札幌市においては、出口委員のお話しにもありましたが、深く導入の先進的な取組をしっかりとキャッチしながら、その成果と課題を札幌市の子ども達の育みに生かしていけるタイミングをつかんでいたのではないかなと思うのです。ですから、これまでも連携・協力はしてまいりましたが、これまで以上に連携・協力というものをここにいらっしゃる皆様と、それらの育みで健やかに成長されてこられた子どもの代表と申しますか、そういった皆様

の声を聞きながら、未来を担う子ども達の成長を地域全体で支え、先ほど出口委員から「協働」という話もありましたが、そういった札幌市らしいコミュニティ・スクールというものを皆様と一緒に考えていきたいなと思っております。

先ほど長谷川部長から、札幌市が今年から小中一貫した教育ということで、学校も地域もみんなで9年間で子どもを育てていきたいと思いますというご説明がありました。ですから私達がこれから札幌市らしいコミュニティ・スクールを考えていく丁度良いチャンスではないかと思っております。

出口委員からご説明いただいた成果と課題を踏まえながら、皆様のご意見を伺って、本会議が円滑に進行するよう努めてまいりますので皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（教育課程担当課長） ありがとうございます。それでは、これからの進行は東間委員長にお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

○東間委員長 それでは続いて、副委員長の選出に入ります。

私といたしましては、恐縮ではございますが、出口委員にお願いしたいと考えております。先ほどご講演もいただきましたが、本委員会のなかで最もコミュニティ・スクールに関する知見をお持ちですので、適任と考えますが、いかがでしょうか。

（拍手）

○東間委員長 それでは、出口委員に副委員長をお願いしたいと思います。恐れ入りますが、出口委員は副委員長席にご移動をお願いいたします。

では、出口委員から一言ご挨拶をいただいてもよろしいでしょうか。

○出口副委員長 副委員長にご指名いただきました出口でございます。言いたいことは先ほど全部お話ししましたが、やはり後出しじゃんけんという言い方もありますが、後から作るからこそ良いものを皆様方と作り上げていきたい、他に負けない札幌こそと言われるコミュニティ・スクールになるよう取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○東間委員長 ありがとうございます。

続きまして、議事(2)について、事務局から説明をお願いいたします。

<資料4に基づき、現時点における札幌市教育委員会の基本的な考え及び検討委員会の進め方について、事務局（柴垣学びのプロジェクト担当係長）から説明>

○東間委員長 ただいまの説明について、ご質問等はございませんでしょうか。

(発言する者なし)

○東間委員長 それでは、本委員会につきましては、事務局から説明のあった基本的な考え方を踏まえて進めることといたします。

7 事務連絡

○東間委員長 最後に、連絡事項等ありましたら事務局からお願いいたします。

○事務局（教育課程担当課長） ただいまご説明をさせていただきましたとおり、まずは委員の皆様で視察を行っていただき、次回検討会議ではその報告会を行いたいと考えております。視察の日程調整につきましては、会議の終了後、皆様と行わせていただきたいと考えておりますので、終了後もご着席のまま待機をお願いいたします。

また、次回検討会議についても、後日日程調整のうえ決定したいと思いますので、そちらについてもご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

8 閉会

○東間委員長 それでは、本日はこれもちまして、第1回「札幌市らしいコミュニティ・スクールの在り方検討会議」を閉会いたします。お疲れ様でした。

以 上